

情報公開と公文書管理

神奈川県弁護士会では、今秋の日弁連人権擁護大会において「情報は誰のもの？～監視社会と情報公開を考える～」というシンポジウムが開催されることに先立ち、情報公開と公文書管理をテーマにプレシンポジウムを企画しました。講演後には質疑応答の時間をお取りしたいと思います。皆さまのご参加をお待ちしております。

事前申込不要
参加無料

I 報告

「県内情報公開審査会答申等から見た公文書管理の問題点」
森田 明（当会会員、人権擁護大会シンポジウム実行委員）

II 基調講演

「公文書管理制度のあり方～公文書管理法を超えて～」
早川和宏（東洋大学法学部法律学科教授）



森友学園問題、加計学園問題と、国では公文書管理のあり方を巡る問題が起こっています。公文書管理は、情報公開の前提ですので、前提を欠く情報公開は砂上の楼閣に過ぎません。講演では、国・地方公共団体における公文書管理の現状を概観すると共に、望ましい公文書管理のあり方を探ってみたいと思います。

講師紹介

全国歴史資料保存利用機関連絡協議会調査研究委員会委員（平成25年まで）、地方公共団体公文書管理条例研究会座長（現職）、のほか、各自治体の情報公開審議会委員や自治体職員研修（政策法務・公文書管理等）講師等を多数勤める。

開催日時 平成29年9月15日（金）
午後3時から5時

場所 横浜市開港記念会館2階7号室

問い合わせ先 神奈川県弁護士会事務局
Tel 045-211-7706

